

所在地	施設名			作成年度
〇〇市	フリガナ	シラツ〇〇ピョウイン		2026
	法人名	市立〇〇病院		
	URL	https://www.city.jp/hp/		
病院の概要				
経営主体	市町村立病院		施設機能分類	地域医療支援病院
病床数	563床		診療科数	31診療科
主な診療科	内科（内分泌・代謝、呼吸器、血液、腎臓、脳神経、消化器、循環器）、精神科、小児科、外科（消化器、呼吸器、乳腺、整形、脳神経、心臓血管、形成）、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線診断科・治療科、病理診断科、救急科、歯科・歯科口腔外科、麻酔科等			
病院の特色	市立〇〇病院は、地域医療支援病院の指定を受け、地域の急性期中核病院として活動しています。救急医療に関しても、24時間、救急搬送を受け入れ、豊能二次医療圏の救急拠点として活動しています。また、地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、地域の皆様へロボット手術など先端のがん診療を提供しています。さらに、第二種感染症指定医療機関の指定を受け、各種感染症の治療にも貢献しています。			
アクセス	〇〇駅下車すぐ			
薬剤部門の概要				
薬剤師数	43人			
業務内容・特色	当院は、最寄り駅から下車・徒歩すぐの好立地に位置する、利便性の高い病院です。薬剤部は、最新の調剤機器を導入しており、調剤時はバーコードによる薬品照合を行うなど、安全かつ効率的な調剤環境を整えています。入院患者に対しては、全病棟に薬剤師を配置して、薬学的ケアに貢献しています。また、がん患者に対する外来での服薬指導や薬薬連携も積極的に取り組んでいます。31診療科目、563床を有する県内有数の市立病院として、様々な専門領域に携わる事が可能であり、専門資格を取得するためのサポートも行っています。さらに、公的病院として、福利厚生も充実しています。			
勤務体系	平日 8時45分～17時15分（休憩45分） 夜間 16時45分～翌9時15分 休日、当直勤務あり			
給与体系	初任給290,864円（大学6卒）、277,424円（大学4卒） ・〇〇市職員（地方公務員）として採用し、初任給並びに地域手当・扶養手当・住居手当・通勤手当・時間外勤務手当・期末手当・勤勉手当等の諸手当については、当市の給与条例等の規定による額が支給されます。			
採用に関する情報				
薬剤師募集実績（前年度）	令和6年度採用試験 薬剤師1名募集 2次試験日時：令和7年5月17日（土） 選考内容：SPI3、個人面接、専門試験 昭和61年（1986年）4月2日以降に生まれた人で、薬剤師免許を持っているか、令和7年度（2025年度）当初までに取得見込みの人			
先輩・若手薬剤師からの一言	調剤システムの機械化が進んでおり、他病院にはないような最新の機器の導入により、調剤業務の効率化を図り、調剤ミスを防ぐシステムもあります。人と機械の共存がバランス良くなされていて、とても働きやすい環境です。			
所属長からの一言	自動化調剤機器やバーコードを活用して薬剤の取り間違いや充填間違いを防ぐ仕組みを取り入れており、新人あるいは他施設から入職の薬剤師でも安全に業務を行える環境です。薬物治療への貢献に熱意のある方、一緒に働きましょう！見学の希望は随時受付けておりますのでお気軽にご相談下さい。			



## POINT 1 職場環境

- ◆ 薬剤師43名（2025年9月現在）が在籍しています。
  - ・若手からベテランまで、幅広い年齢層です。
- ◆ グループ間で連携しながら業務を行っています。
  - ・病棟グループ（薬品管理、DI、患者指導）
  - ・調剤グループ（調剤、注射、製剤）
  - ・外来化学療法指導、入院前問診など
- ◆ 丁寧な新人教育で安心して業務を開始できます。
  - ・入職後3カ月間で調剤（内服・注射）業務を習得、
  - ・目安として4カ月目で土日祝の日勤、5カ月目で夜勤業務が開始します。
- ◆ 地方公務員として安定した働きやすい環境です。
  - ・年間休日120日以上、夏季休暇（連続取得可能）は6日間あり、仕事と休息のメリハリをつけて、リフレッシュすることができます。
  - ・福利厚生（地域手当、住居手当などの手厚い手当があります。また、産前8週間前より産休取得可など出産育児に対するサポートも充実しています）

## POINT 3 地域がん診療連携拠点病院としての役割

当院は地域がん診療連携拠点病院の指定を受けており、緩和ケアセンターやがん薬物療法センターに専任の薬剤師を配置しています。

専任薬剤師は、患者さまに治療の説明を行う前に、病状や患者背景について医師・看護師などのスタッフと情報共有を行います。その後、薬剤師外来にて、治療開始前に事前説明を行います。外来治療センターでは、点滴治療中にも専任薬剤師が治療の説明・指導を行います。

治療開始後も継続的に副作用をモニタリングするために、薬剤師外来にて診察前面談を行い、副作用対策のための検査や処方提案を行っています。また、地域の保険薬局とも連携して、副作用軽減や治療効果の改善などにも取り組んでいます。

当院は、がん薬物療法認定・がん診療病院連携研修認定施設に指定されているため、働きながら資格取得を目指すことが可能です。

## POINT 2 システム導入

安全対策の取り組みとして、ハンディ端末を用いた処方薬や搬送先病棟の照合システムを導入しています。

内服薬・外用薬の調剤においては、薬袋に印字されたQRコードと、薬剤に印字されたバーコードや分包に印字されたQRコードを照合することで薬剤の取り間違いを防止しています。注射薬は自動注射薬払出機の導入により、誤調剤防止と業務効率化を図っています。

また、調剤の業務効率化の取組みとして、PTPシートの計数調剤を自動化する全自動PTPシート払出装置や秤量から分包まで自動で行う散薬調剤ロボットなどのシステムを導入しています。



全自動PTP  
シート払出  
装置



散薬調剤  
ロボット

## POINT 4 チーム医療への参画

2024年5月より、術後疼痛管理チームが発足しました。麻酔科医師、看護師、術後疼痛管理研修を修了した薬剤師で構成されたチームで毎日ラウンドに回っています。

手術後3日間の患者さまを対象として、疼痛管理、術後悪心・嘔吐（PONV）の評価を行い、処方提案などを行っています。

病棟では、各認定・専門薬剤師が感染対策チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、褥瘡対策チームの一員として活動しています。また、糖尿病センターにおける糖尿病教室や、心臓病センターにおける心臓病教室にて薬剤師による患者さまへ向けた薬物療法の講義も行っていきます。

- 当院に在籍する専門・認定薬剤師
- 日本医療薬学会 がん専門薬剤師
- 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師
- 日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師
- 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師
- 日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師

- 日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師
- 日本病院薬剤師会 日病薬病院薬学認定薬剤師
- 日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士
- 日本臨床栄養代謝学会 NST専門療法士
- 日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師
- 日本麻酔科学会 周術期管理チーム薬剤師
- 日本医療情報学会 医療情報技師 他